

重要 必ずご確認ください令和8年度 福井県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ・更新研修課程Ⅱ
【事例提出について】

(1) 事例提出の目的

- 課程Ⅱは事例を用いた演習中心の研修です。
受講者が事例を持ち寄り、**事例研究**をしていきます。(事例検討ではありません)
実際に起こった出来事を手がかりに詳細(今回であれば適切なケアマネジメント手法に基づき)を追究していきます。
- 事例研究は、「個々の事例から自己の実践を振り返り、類似した事例や状況に対応する力」や、「個別の課題をもとに地域の課題を抽出し解決に向けた取組につなげる力」の習得を主な目的とします。事例の研究を通して、普遍的な問題や解決の方法を見出す手段にもなります。
- 対象事例を丁寧に振り返ることによって、一つひとつの事例を掘り下げることや課題の実現を妨げている要因・原因を明らかにする(事例検討)が目的ではありません。
- 事例はテーマに沿う部分のポイントを押さえて簡潔に記載してください。(そのことにより、研修当日の報告もスムーズになります。)
- **事例は、自分の実践を振り返り「課題が残った事例」や「うまくいった事例」等から選んでください。**

(2) 事例提出の方法

- 受講決定後、以下の7類型(テーマ)の事例を「事例概要」(様式①)に記入し、併せて事例説明時の手元資料として資料②～⑨を適宜ご準備ください。
- ※7類型(テーマ)の事例 様式①に記入

	科目	キーワード
1	脳血管疾患のある方のケアマネジメント	血圧や疾病の管理の支援、服薬管理の支援、生活習慣の改善、心身機能の回復・維持、心理的回復の支援、活動と参加に関わる能力の維持・改善、リスク管理、血圧や疾病の自己管理の支援、服薬の自己管理、生活習慣の維持など
2	認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	初期診断に関する対応、地域ネットワーク構築、認知症の理解、環境変化における対応、行動障害の取組、認知症治療に関する事、精神疾患における医学的・心理的な状況 など
3	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	転倒予防、骨粗しょう症の予防、歩行の獲得、生活機能の回復、社会参加の回復、介護給付サービスの終結に向けた理解の促進(自助・互助への移行) など
4	心疾患のある方のケアマネジメント	疾患の理解と確実な服薬、自己管理能力の向上とリスクの管理、療養を続けるための環境・体制の整備、心疾患の状況に応じた生活・書らし方の支援、心理的な支援、ステージに応じた生活・暮らし方の支援 など
5	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	誤嚥性肺炎の予防、不顕性誤嚥、誤嚥リスクの評価、かみ合わせ、咀嚼、義歯、咳、呼吸、口腔ケア、摂食嚥下機能、口腔乾燥、フレイル予防、地域連携パス(クリティカルパス) など
6	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	痛みの改善の取組、生活機能低下における対応、死の受容に関する事、緩和療法、葬儀に関する相談対応、遺品に関する相談対応、生きがいの実現、看護サービス利用について など
7	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	家族等に対する支援の重要性や支援における役割・留意事項の理解、社会資源の活用に向けた関係機関との連携、他法他制度の活用(難病・高齢者虐待・高齢障害者。経済的困窮にある高齢者等) など

	資料名	様式等
提出物	事例概要	様式① 本会ホームページよりダウンロードしてください。
手元補助資料	②基本情報(フェイスシート)	事例研究に必要と思われるものを適宜ご準備ください。 所属事業所で使用しているもので結構です。
	③アセスメントシート	
	④サービス計画書(第1表)	
	⑤サービス計画書(第2表)	
	⑥週間サービス計画表(第3表)※24時間シートでも可	
	⑦サービス担当者会議の要点	
	⑧介護支援経過	
	⑨その他事例の理解に必要な資料	

- 作成した7類型(テーマ)7枚の「事例概要」を、**事例提出締切日(各コース初日の3日前(土日祝は除く))までに事務局に Eメールでご提出ください。**
※提出がない場合は、受講決定後であっても研修を受講することができません。
※提出があっても、未記入項目や内容に不備等がある場合には再提出いただく場合があります。
- 事例をEメールで提出する際は、**必ず件名を「課程Ⅱ(受講番号)(氏名)事例提出」として**ください。また、7事例を7ページからなる1つのWordファイル(PDFファイルも可)で送信してください。
- 事例入力の際は、**1事例が1ページに納まるよう、行間や文字の大きさを調整し、7ページのものをご提出ください。**
- 事例作成に際しては、ご利用者の了承を得る等、所属事業所で定められた条件のもと、**個人情報**はすべて消す等の処理をお願いします。**事業所名も不要**です。

例) 福井市で生まれ鯖江市に… → A市で生まれB市に ○市・■市
ふくいデイサービスセンター → Cデイサービスセンター、×メデイサービスセンター

- 7類型の要素が複合的に含まれる事例であっても、それぞれの類型で1枚ずつ「事例概要」を作成してください。
※同事例でも類型が変われば記載内容(押さえるポイント)も変わるはずです。
- 受講者のご経験によっては提出が難しい類型があるかもしれませんが、必ずしもぴったり一致していなくても結構ですので、前ページのキーワード等を参考にして幅広くとらえていただき、ご提出をお願いします。

(3) 研修時の事例共有について

- オンライン研修時の事例発表については、各受講者が Zoomの画面共有機能を使い、画面に事例を表示して行います。
メールで送信した「事例概要」のデータ(WordでもPDFでも可)は必ず保存しておいてください。
- 具体的な操作方法は、「Zoomの操作マニュアル」を送信します。
- 実際の操作については、動作確認日を設け、体験いただく予定です。

提出先(事務局)
福井県社会福祉協議会 福祉人材課 研修部門
Eメール manp@f-shakyo.or.jp
TEL0776-21-2294 / FAX0776-24-4187